

徒然想

秋晴れの空に、イワシ雲が気持ちよさそうに泳いでいました。ふと、弊社にも釣り好きが何人かいることを思い出しました。私の同僚は、瀬戸内海で釣ってきたブリを肴に晩酌するのが楽しみなのだそうです。が、まだ釣れないので、なんとかこの秋には釣りあげたいと語っておりました。何はともあれ、食欲の秋です。自分の手で釣ってきた魚なら、酒もさぞかし旨いだろうと思う次第です。本格的な冬が来る前にしっかり食べて元気になって、免疫力もあがってほしいところです。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

支承受替工事での高精度三次元空間情報の活用

近年、支承の機能回復と交通荷重の増加へ対応するため、支承受替工事が各所で行われています。支承受替工事では、桁仮受設備の配置などを計画する上で、現況の三次元空間情報を把握することが重要となります。

また、既設アンカーボルトを新設管に転用する場合には、正確な現況アンカーボルトの位置情報が求められます。支承受替工事に高精度な三次元空間情報を活用することで、従来の二次元図面での工事計画と比べ、より正確で確実な施工を実現することができます。

以下は、現況支承周辺の桁下空間データ計測に地上型3D スキャナを、アンカーボルト位置の計測にハンディタイプの高精度スキャナを用いて三次元空間情報を取得し、3次元モデルや現況支承詳細図を作成した事例です。



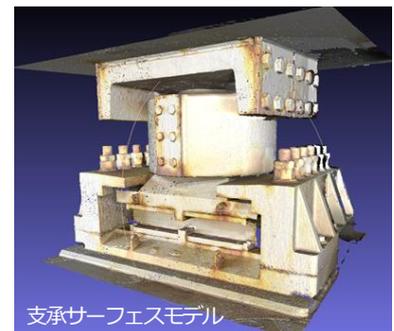
地上型3Dスキャナ計測 (Focus3D)



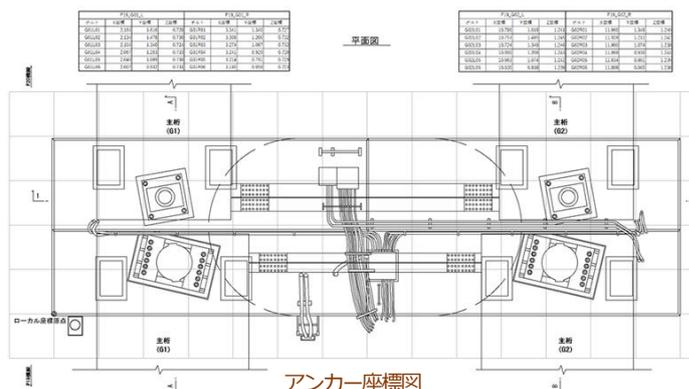
ハンディタイプ高精度スキャナ計測 (Go Scan 3D)



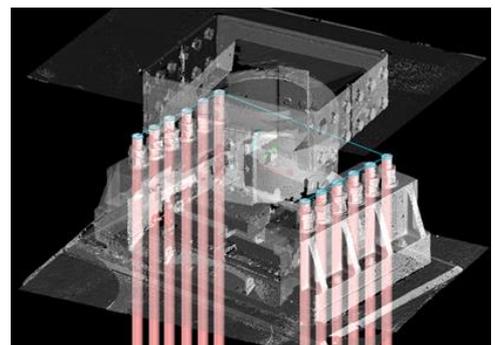
桁下空間点群モデル



支承サーフェスモデル



アンカー座標図



支座アンカーの三次元配置モデル

あわせて弊社 HP もご覧ください。 <https://www.krcnet.co.jp/topicsweb/topics151.htm>